

# 建設通信新聞

発行所 日刊建設通信新聞社  
〒101-0054 東京都千代田区神田錦町3-13-7  
電話(03)3259-8711  
FAX(03)3259-8730  
©日刊建設通信新聞社 2016

## 環境、防災技術学ぶ

### ミラクル ソル協ら 災害外力に対応

ミラクルソル協会(原裕理事長)、佐賀県ジオファイバー協会、佐賀県ニューレスプ協会(ともに原裕会長)、SSLアンカー工法協会(原裕本部長)は18日、佐賀県唐津市の唐津市高齢者ふれあい



津市の唐津市高齢者ふれあい会館「りふれ」で、2015年度第23回「ミラクルソル工法・ジオファイバー工法・ニューレスプ工法・SSLアンカー工法・計測技術」技術研究会を開いた。発注機関、コンサルタント、建設会社の技術者ら約140人が参加し、環境負荷を低減する工法や防災技術に理解を深めた。佐賀

県地質調査業協会(原裕理事長)が後援した。原理事長は冒頭、「第1部は環境をテーマに環境負荷の低減に適した工法の研修を行う。第2部は防災と計測技術をテーマにしている。都市化に伴い災害外力が高まってきており、地域建設業がどう対応するかが課題になっていく。国土交通省認可の地すべり防止工事は工事、メンテナンスに加え、近く計画、調査・設計まで認可範囲が広がる。行政機関にはぜひ活用していただきたい」とあいさつした。写真。

研修会では、原理事長が「多目的環境材料ミラクルソルの環境負荷低減技術」をテーマに講演し、開発の背景や目的、製造工程、特性などを紹介した後、水と土と緑の自然環境を創出するミラクルソルのクラスター構想を解説した。最近の取り組みでは、世界初のクロマグロの陸上養殖や水産養殖用ろ過材、有明海底質改善など水産業への活用事例を示した。また、緑の防潮堤への利用やF.W.G透保水性舗装工法を活用した皇居外苑駐車場の路面温度の低減策、内外堀の水質浄化など東京五輪を踏まえた提案も報告し、「他産業とのマッチングを含め、これからのものづくりは環境に対応できない企業が市場から取り残される」と警鐘を鳴らした。

引き続き、日特建設九州支店技術部の阿南祐二部長がジオファイバー工法とニューレスプ工法の概要や留意点、国土防災技術技術部の小野征一郎部長が地すべりの多様な地盤特性に適合したSSLアンカー工法、サンスイ・ナビコ営業開発部の小野理部長らがグラウンドアンカー健全性調査・他の計測技術について説明した。講師によるパネルディスカッションも行われた。